

館報 城山

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集 島田安彦
発行人
印刷所 富士印刷(株)

管内の世帯数 (R7・8・1)
第一地区…2,783
第二地区…5,444
合計…8,227世帯

「市民講座」への誘い

講座参加者の感想

城山公民館では、皆様お気軽にご参加いただける市民講座を随時開催しています。企画にあたっては、日頃から皆様のご希望をお聴きし、適切な講師にお願いしています。直近に開催した市民講座に参加された方々の感想をご紹介します。これを機に市民講座にご参加ください。



西町南の畳差し

「地域の学び講座」に参加して

溝邊 いずみ (藤屋)

門前町の歴史と成り立ちから、街路樹に桂が選ばれているのは、かつて善光寺の材木として用いられた歴史にちなむなど、善光寺周辺の風景が深い歴史の積み重ねでできていることを実感しました。善光寺や西方寺にみられる石工の技や石の産地、防火水

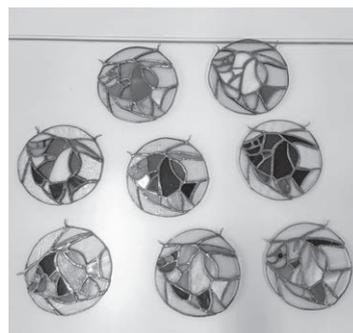
路の工夫「畳差し」など、暮らしに根差した知恵に、この地域を語る豊かな視点を見出すことができました。宮下先生の熱意あふれるご案内で、何気ない景色が驚きと発見に変わりました。私も門前に関わる一員として、こうした地域の語り部になれるよう、学びを重ねていきたいです。雨上がりの石畳が美しく、同行された公民館の皆様のおかげにも温かさを感じました。貴重な機会をありがとうございました。

「ステンドグラスアート講座」に参加して

市内 女性

「ステンドグラス」。この響きに興味がありました。でもセンスのない私で大丈夫だろうか？皆さん初めてと聞いてほっとしました。

ただただ夢中でガラスに銅テープを巻く。裏表の折り返しが上手に出来ない。何とか形になってハンダで固定する作業、これが楽しい。いろいろ失敗している。でも世界で一つだけの私の作品が出来ました。充実した時間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。



完成した皆さんの作品 (熱帯魚)

「初夏の寄せ植え講座」に参加して

飯塚 孝子

庭に草花が少ない今の季節に、城山公民館にて、「初夏の花の寄せ植え講座」があると知り、早々に申し込みました。私はどんな草花を使って初夏の寄せ植えになるのか、当日までとても楽しみにしておりました。



みんなで寄せ植え

講師の青木先生が用意下さった草花は、とても涼しげで優しく感じられました。ひとつの鉢の中に7つの草花を配置して植込むのですが、いかにかっこよく、涼しく見えるようにと、調和を考えて植込みました。まだまだ暑い日が続きますが、自分の作った寄せ植えの鉢を眺めながら、草花の成長と共に、涼やかさを感じていきたいです。

ご案内

今後の市民講座

お申込みを
お待ちしております

成人学校体験講座
めざそう！
健康ライフ
講座体験会

ゆったり楽しくエクササイズ ストレッチ用ボールで身体ゆがみを整え、姿勢改善を目指します。

日時: 令和7年9月22日(月)
13:30~15:30
会場: 城山公民館 第二分館 1階和室
講師: 西澤真由美さん(健康運動指導士)
定員: 15名(要予約)
持ち物: 水分補給用の飲み物 筆記用具
タオル ヨガマット(バスタオル可)
ストレッチ用ボール(お持ちの方)
●参加費: 無料※ストレッチ用ボールは300円でレンタル可能
●申込先: 城山公民館 232-3111(平日)

地域の学び講座
湯福川と鐘鑄堰 散策隊

地域を散策しながら、川・地質・地形について田辺先生のお話を聞きます(徒歩行程約3km)。

令和7年9月25日(木)
9:30~11:30(予定)
集合: 城山公民館玄関 午前9時20分
講師: 戸部地質化石博物館 田辺智隆さん
参加費: 無料(要予約)
持ち物: 水筒、帽子、雨具(少雨決行) 筆記用具
申込先: 城山公民館 232-3111(平日)
共催: 第二地区住民自治協議会
※申込受付は 8月26日(火)~

他人事ではおぼろげに!
防犯対策講座

特務詐欺、空き巣、車上荒らし、強盗、窃盗 etc... 身近な犯罪傾向や防犯心手口から被害に遭わないための対策を実践を交えながら学びましょう。

日時: 令和7年9月26日(金)
午後1時30分~3時
場所: 城山公民館 第二地区分館 2階 集会所
講師: 長野中央警察署 生活安全課 防犯指導係(警察官)
申込先: 城山公民館 232-3111(平日)
定員: 20名(要予約)
参加費: 無料
※筆記用具をご持参ください。

世代間交流講座
おとなも！こどもも！ みんなでリズムク

今回は初の試みと存じ、全世代、対象です。世代を超えた交流を楽しみませんか？

日時: 9月30日(火) 9:30~11:00
会場: 城山公民館 第二地区分館 2階 集会所
講師: 北島 由美さん・羽場 純子さん (トミカ研究センター 長野第一支部)
定員: 未就園児親子…5組 一般の方…10名
持ち物: 運動靴、飲み物、筆記用具 (動きやすい服装でお願いします)
申込先: 城山公民館 ☎ 232-3111(平日)

特別寄稿

過去の災害を学び、将来に備える その1

長野市立博物館 原田 和彦



皆さん初めまして。これから、隔号でこのコラムを担当させていただきます長野市立博物館で歴史学を担当している原田和彦と申します。

私はながく真田宝物館に勤務し、真田家の文書を多く見ってきました。この真田家文書は、全国的に見ても史料が多く保存されている大名家文書です。私はこの膨大な真田家文書の中から、様々な歴史事象を復元してきました。

また、私は真田家文書を通して災害史も研究し、二十年ほどの間、東京大学地震研究所や新潟大学の研究費をいただいで、主に1847年・善光寺地震について調べてきました。これは現在も継続中です。真田家文書には地震に関する記録が非常に多く残されています。

善光寺地震の実像は、その当時の人は当然今は生きていませんから、証言を得ること



弘化丁未夏四月十三日信州厚川崩激六郡漂蕩之図 (当館蔵)

はできません。そのため、松代藩庁の記録類(真田家文書)や各地に残る古文書などから実像を探っていかざるを得ません。ただ、善光寺地震の研究は、主に自然史(地震学や地質学)の人たちが進めてきましたから、史料の読み違いや後世の資料を使って論じるなど、歴史学徒の私からすると、不十分に感じてしまう部分もあります。

とくに私が危惧するのは、「善光寺地震のような規模の地震は、この地域であと1000年は起きない」と講演会で耳にすることです。東日本大震災後に開催された東京大学地震研究所での研究会に参加した際に名だたる(テレビでよくコメントをしている)東京大学の教授陣が、「この地震は想像していなかった」と語っており、地震学は「予言学」でないことを皆認めたのでした。

ただ、地震は周期性があるので過去の地震(歴史地震)を検討することで、ある程度の予測ができます。しかし、地方の史料が豊富になるのは、200年ほど前からですから、「1000年起こらない」という根拠は全くないと思います。



善光寺門前の宿場で、建物の倒壊により柱に挟まれ救出を待つ被害者。火災が近づいている。(真田宝物館蔵)

さて、2011年に起こった長野県北部地震(「神代断層地震」)は、1714年小谷地震(震源域は小谷村から白馬村辺り)と被害状況並びに震源域がそっくりです。ただ、小谷地震では、善光寺で大門の石垣が崩れそこに居た人が亡くなっています。

このように、地震は周期的であり、被害もほぼ似通ったところで発生します。私の担当する連載では、地震を中心とした災害について触れようと思います。

新連載への期待

「館報城山」編集委員長

萩原 道朗

「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉は、物理学者で随筆家の寺田寅彦が講義中に発したとされていますが、これは「喉元過ぎれば」の喩(たとえ)の如く、記憶にすっかり留めよという意味にも解されます。

そこで現在、九州の南、トカラ列島十島村(屋久島と奄美大島の間に位置し、有人島7島、無人島5島の計12の島)では、群発地震が発生しており、いままでに2200回超の震動に襲われ、「眠れない」住民の島外避難が行われました。

そんな報道を見ながら、かつての松代群発地震を思い出ししました。当時は、高校の廊下いっぱい(積まれた乾パンの箱の山)に奇異な感覚を抱いたことを覚えていますが、「眠れない」住民もいたかも知れません。

そこでこの度、館報「城山」では、執筆者に長野市立博物館の原田和彦氏をお招きして「地元の災害史」というテーマで執筆いただくことになりました。これは大変貴重な機会です。一読者として、大いに関心があり、期待したいと思います。

街並み散歩 その1 (新町付近)

ある昼休み、思い立って城山小学校南側の石段を下りてみた。湯福川を渡ってほどなく、旧北国街道の奥道に出た。

ふと道路脇に目をやると、背もたれに「新町お休み処」と書かれたベンチがあった。そして、目を東に転ずると、道路左(北)側の家屋がセットバックされていた。たしか昔は店舗が軒を連ねていた記憶が蘇ってきた。通りがかりの地元の方にお聞きすると、歩道整備のため、家屋が立ち退いたとのこと。道路幅以上に広く感じた訳である。

そこで、このような街並みの変化を館報の記事にしようと考へ、先ず「新町付近」について、資料調査と関係者からの聞き取りなどを行った。

『長野市誌第4巻歴史編近世2』によると、江戸時代に善光寺の如来堂(本堂)が火災により焼失してから、元禄年間に本格的な本堂再建計画が始まった。幾度も町家から類焼した経験から、町家から離して北に移すことになり、北之門町の住民を城山下(新町)へ移転させ、畑地も上げ地して敷地とし、現

在の本堂が建立されたところ。また、『同書第5巻歴史編近代1』によると、善光寺界隈の新町、岩石町、伊勢町の三町は、維新时期以後の風潮で自然廃止となっていた開市(かいし)を明治22年(1886)3月から、月3回開くことになり、旗章をつくつ



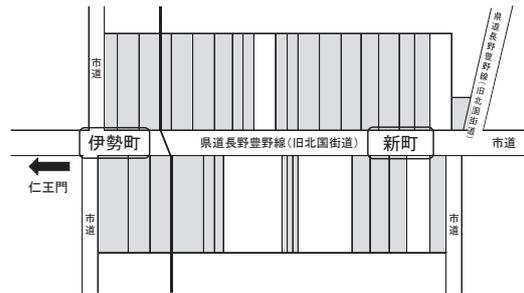
1 1932年撮影(新町公民館蔵)



2 2025年撮影(仁王門方向)

て三町とも立派な飾りつけをし、客寄せをしたとある。写真1は1932年の新町大神社御造営完成御遷宮祭を撮影。道路沿いには商家が軒を連

ねている様子がわかる。写真2はほぼ同地点から撮影。93年後の姿。



1962年当時の店舗等(表示:グレー)

図は『長野市住宅案内図(1962年日地刊行会発行)』を参照。ベンチを挟む東西約150m間(一部伊勢町)には、呉服店、雑貨店、書店、写真館、薬局、洋服店、美容院、食料品店、菓子店、魚店、洋品店、青果店、燃料店、ガラス店、履物店、時計店、電気店、建具店、不動産業などの店舗や事業所が営業していた。

日々城山公民館から望む国宝善光寺本堂の場所(旧北之門町)が、今から約330年前は、新町に移られた人々の暮らしが営まれていたことに思いを巡らすと、時の移ろいを深く感じました。(島田)

地域公民館便り

岩石町公民館長 落合 正宏

岩石町は、善光寺の南東に位置する戸数百戸ほどの小さな町です。町のことをご存じない方も、毎年11月の恵比寿講、1月の初恵比寿で知られる西宮神社のある町と言えはお分かりいただけるのではないかと思います。

小さな町ではありますが、それがゆえに互いのことをよく分かっている、自然に挨拶が交わせる、助け合うことのできる温かな雰囲気のある町であると思っております。



古録稲荷神社

そんな岩石町も、少子高齢化など社会情勢の変化には抗えず、これまで行ってきた親睦旅行、敬老会などの行事を実施していくことが難しくなってきました。



岩石町公民館

本年度、長くご苦労いただいた前区長が勇退され、新しい体制が発足しました。手探りの中ではありますが、できるだけ多くの町民が無理なく参加できる活動の一つ一つ行っていこうという方針を確認しました。

そんな中、5月のごみゼロの日には多くの町民が参加して公民館清掃を行うことができました。清掃後は古びた公民館が何だか立派に見えました。また、秋には町のお宮(古録稲荷神社)の例大祭、子ども神輿等も計画されています。今後も町民が知恵と力を出し合って、町や公民館の活動を盛り上げていきたいと考えています。

折々日記 梅しごとから世界を思う

山口 美緒

上松から箱清水に居を移して3回目の夏が過ぎました。引越した年の6月、玄関先の梅の木に、たつたひと粒の梅が実りました。それなりの老木で内見時も花が少なく、最後のひと粒だろうかと、毎年梅しごとを楽しむ身としては残念に思っていました。しかし、2年目。見上げるとそこかしこに梅の実が。しかも極大粒。完熟を待つて収穫すると1kgほどになりました。

した。料理家の横山タカ子先生のレシピでさしず漬けにしたものの、諸事に翻弄されて1年越しの梅干しとなり、反省。

そして3年目の今年、わすかでもと思っていたら…：とんでもないことで、なんと10kgもの梅が実ったのです。素人剪定が良かったとは到底思えませんが、しばらく空き家だった建物。梅の木も、人の気配がうれいなんていうことがあるのだろうかと考えて思い浮かぶのが、梨木香歩の小説『家守奇譚』です。友人の古家を守る主人公と、庭木

たちのお話。サルスベリが主人公に懸想するような不思議な物語ですが、世の中の多くが人智を超えたものであることをあらためて思います。

梨木は時折イスラームにも触れる作家で、本質的に理解や共感ができずとも受け容れる大切さを説くところは本著にも通じます。そこで庭の1本の梅の木から少しだけ世界に思いを馳せると、忙しなく、やるせないできごとの多いこと。この秋は、梨木作品を何冊か再読して、広い世界にも目を向けようと思います。

令和7年度 城山公民館の主な事業

- 4月・成人学校開校 全25講座
- ・公民館企画の市民講座開始 (年間約40講座の予定)
- ・図書室の図書貸し出し開始
- 5月・ひよこくらぶ (未就園児親子対象講座) スタート
- 6月・地域歴史散歩講座「善光寺周辺」第一地区と共催
- ・あひるくらぶ (小学生親子対象講座) スタート
- 7月・公民館報発行 (7月・9月・12月・3月の4回)
- ・「スアンドグラスアート講座」実施
- 8月・令和7年度城山公民館成人式実行委員会発足
- 9月・地域の学び講座 第二地区と共催予定
- ・世代間交流講座「みんなでリトミック」開催予定
- 10月・多世代間交流イベント「ハロウィン開催予定
- 1月・成人祝賀式 善光寺事務局講堂
- 2月・令和7年度 成人学校作品展・学習発表会開催予定
- ・城山公民館 使用団体説明会
- 3月・城山公民館運営審議会 開催予定
- 通年・公民館管理事業

令和7年度成人式について

令和7年度「城山公民館成人式」は、令和8年(2026)1月11日(日)善光寺事務局講堂にて開催予定です。対象者は、平成17年4月2日から平成18年(2006)4月1日までに生まれた方で、第一・第二地区に居住、または実家がある方のうち、事前に参加申し込みをされた方です。なお、地元を離れ、他地区に居住の新成人には、ご家族からお知らせいただき、城山公民館にご相談をお願いします。詳細は、今後の地区回覧や公民館ホームページをご覧ください。

☎026-2332-3111



多行とは、根元付近から生じる多くの幹を表しており、英語では、頂部が傘を広げた形からジャパニーズアンブレラパインと呼ばれています。同浄水場には、現在13本が生えています。



あちこち
スナツプ
往生地浄水場の
多行松
(たぎょうしょう)

新刊図書のご案内

愛しさに気づかぬうちに	川口 俊和
生殖記	朝井 リョウ
人魚が逃げた	青山 美智子
PRIZE	村山 由佳
マイ・ディア・キッチン	大木 亜希子
猫の刻参り	宮部 みゆき
月とアマリリス	町田 そのこ
おんぶおばけ	いもと ようこ
あんこと米粉のおやつ	今井 ようこ
梅干しは万能調味料	ワタナベ マキ

編集後記

昭和20年8月14日、日本がポツダム宣言を受諾し、翌日天皇の声で終戦の事実を伝える放送が流れてから、今年はずいぶん80年になりました。爽やかな信州でも酷暑の夏が続きますが、80年前のこの日、長野の気温は東京を超えて33・5℃の真夏日となりました。そして不条理な戦争を体験し暑かったこの日を知る世代もほとんどこの世を去って、戦争は遠い昔の物語になりそうです。しかし、真夏日の青空が、改めて平穏な日常の大切さを気付かせる機会になれば、それもまた歓迎です。(山口し)